

開催プログラム

第24回 日本デジタルパソロジー・AI研究会総会

Day 1 8/20 (木)		Day 2 8/21 (金)		Day 3 8/22 (土)	
Room 101		Room 101		Room 101	Room 107
8:00		レセプション		レセプション	
8:30	レセプション	一般演題1		ワークショップ3	
9:00	オープニング	シンポジウム2		ワークショップ4	
9:30	講演 1				
10:00	DPAセッション	Break / Poster		Break / Poster	
	Break / Poster				
10:30		ワークショップ1		シンポジウム4	
11:00	講演2				
	ESDIP セッション	スポンサードセミナー2		ワークショップ5	
11:30					
	Break / Poster	Break / Poster			
12:00				クロージング	
12:30	ランチョンセミナー	ランチョンセミナー			
13:00	教育講演1	企業展示	一般演題2	企業展示	
13:30	講演3		スポンサードセミナー3		
	ASDP セッション				
14:00					
14:30	教育講演2		シンポジウム3		
15:00	Break / Poster		Break / Poster		
15:30	スポンサードセミナー1		総会		
16:00	長崎大学情報病理学 特別企画セミナー	会長講演			
16:30	特別講演1				
17:00		ワークショップ2			
	シンポジウム1				
17:30		一般演題3			
18:00	移動				
18:30					
19:00	懇親会				
19:30	@稲佐山観光ホテル				
20:00					
20:30					
21:00					

Day 1

9:00-9:15

オープニング: Opening

Speaker

総会長 北村由香（株式会社N Lab/長崎大学）
理事長 前田一郎（北里大学）



9:15-10:15

講演 1 : Lecture1

DPA & MICCAI セッション

Chair

福岡順也（長崎大学）

Speaker

L1-1 9:15-9:20 Abigail Norris（Digital Pathology Association, USA）

「Accelerating Pathology’s Digital Future:
The Global Impact of the DPA」

L1-2 9:20-9:50 Marrius George Lingurarú（Children’s National Hospital, USA）

「未定」

L1-3 9:50-10:15 Anil Parwani（The Ohio State University, USA）

「From Imaging to Insights : The evolving role of digital pathology」



10:15-10:45

Break / Poster

10:45-11:45

講演 2 : Lecture2

ESDIP セッション

Chair

津山直子（がん研究会がん研究所）
Andrey Bychkov（亀田総合病院）

Speaker

L2-1 10:45-11:00 Inti Zlobec（University of Bern, Switzerland）

「Medical AI is here… But where?」

L2-2 11:00-11:15 Mircea Serbanescu(University of Craiova, Romania)

「Toward Organizational Interoperability in Digital Pathology:
A Common User Core for Global Digital Pathology Associations」

L2-3 11:15-11:30 Jordi Temprana Salvador(Vall d’Hebron University Hospital, Spain)

「Hunting Intelligent Unicorns:
5 million slides and Artificial Intelligence in a network of 8 Hospitals.
The DigiPatICS Project」

L2-4 11:30-11:45 Norman Zerbe（Charite University, Germany）

「未定」



11:45-12:15

Break / Poster

12:15-13:00

ランチョンセミナー1 : Luncheon Seminar1

（企業によるピッチ形式：1社7分）

Chair 近藤恵美(シスメックスCNA株式会社)

Speaker

LS1-1 大日本印刷株式会社

LS1-2 株式会社インフィニットジャパン

LS1-3 ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

LS1-4 EIZO株式会社

LS1-5 浜松ホトニクス株式会社

LS1-6 ライカマイクロシステムズ株式会社

Day 1

13:00-13:30

教育講演1: Educational Lecture1

Chair
長村義之（日本鋼管病院）

Speaker
EL1 Eric F. Glassy（Affiliated Pathologists Medical Group, USA）
「Less Routine, More Mastery: The Case for Intelligent Pathology」



13:30-14:15

講演3: Lacture3

ASDP セッション

Chair
川井将敬（国立がん研究センター東病院）

Speaker
LS3-1 13:30-13:45 Ben Zheng
「Digital and Intelligent Pathology in China: Evolution, Market, Challenges and Outlook」

LS3-2 13:45-14:00 David Joon Ho（The State University of New York, Korea）
「Deep Learning-Based Whole Slide Image Segmentation to Assist Pathologists」

LS3-3 14:00-14:15 Mariano de Socarraz（CorePlus Servicios Clínicos y Patológicos, LLC, Puerto Rico）
「Return on Innovation: A Non-Academic Laboratory's Six-Year Journey to Digital and AI-Enabled Precision Pathology」



14:15-14:45

教育講演2: Educational Lacture2

Chair
未定

Speaker
EL2 Jeroen Van Der Laak（Radboud University Medical Canter, Netherlands）
「Overcoming the hype: can we close the translation gap in computational pathology?」



14:45-15:30

Break / Poster

15:30-16:00

スポンサードセミナー1: Sponsored Seminar 1

Indica Labs

Chair
牧野英哉（Indica labs）

Speaker
SS1 尾崎清和（摂南大学薬学部 病理学研究室）
「HALOを用いたMASHモデルマウスの定量的病理組織解析とその有用性」

Day 1

16:00-16:30

長崎大学情報病理学特別企画セミナー：
Special Seminar organized by the Department of Pathology Informatics

Chair
Kris Lami（長崎大学）

Speaker
SSO-1 16:00-16:15 福岡順也（長崎大学）
「本気でデジタルパソロジーを始めるための6ステップ」

SSO-2 16:15-16:30 Hicham EL Attar（University Mohammed VI Polytechnic, Morocco）
「Artificial Intelligence in Oncology:
Transforming Cancer Diagnosis, Prognosis, and Precision Medicine」



16:30-17:00

特別講演 1：Special Lecture1

Chair
福岡順也（長崎大学）

Speaker
SL1 Hamid Tizhoosh（Mayo Clinic, USA）
「Foundation Models and the Future of Computational Pathology」



17:00-17:45

シンポジウム 1：Symposium1

ハイエンドな組織病理学技術をどう民主化するか？

Chair
洲崎悦男（順天堂大学）

Speaker
SYM1-1 17:00-17:15 坂下信悟（国立がん研究センター東病院）
「病理AIの民主化」

SYM1-2 17:15-17:30 洲崎悦男（順天堂大学）
「3D病理診断の民主化に向けて」

SYM1-3 17:15-17:30 渡辺亮（株式会社CyberomiX）
「コモディティ化された空間解析が実現する
病理ゲノミクス研究」



Day 2

8:30-9:00

一般演題 1 :Oral session 1

Chair
未定

Speaker

OS1-1 8:30-8:36 Kris Lami (長崎大学)

「Multi-Organ Assessment of Large Language Models in Pathology
Diagnosis: Accuracy, Errors, and Hallucination Patterns」

OS1-2 8:36-8:42 武田 康宏 (株式会社Neuspective)

「病理診断報告書の質と業務効率を高めるAIエージェント・プロダクト
「Qreia」の紹介」

OS1-3 8:42-8:48 Frederico Gaia Costa da Silva (長崎大学)

「AI-augmented interpretation improves interobserver agreement
preserving prognostic stratification, in lung adeno-carcinoma
subtyping」

OS1-4 8:48-8:54 Ethan N. Okoshi (長崎大学)

「Automated Mycobacteria Tuberculosis Detection
on Ziehl-Neelsen Stained Whole Slide Images」

OS1-5 8:54-9:00 村上龍太 (香川大学)

「脈絡叢上皮細胞肥大機序を探るAI支援画像解析」

9:00-9:45

シンポジウム 2 : Symposium 2

空間トランスクリプトームとデジタルパソロジー

Chair
福岡順也 (長崎大学)
洲崎悦男 (順天堂大学)

Speaker

SYM2 9:00-9:25 鈴木穰 (東京大学)

「空間トランスクリプトーム解析を用いた
がん微小環境多様性の解析と技術革新」

Panelist

9:25-9:45パネルディスカッション
Inti Zlobec (University of Bern, Switzerland)



9:45-10:15

Break / Poster

10:15-11:15

ワークショップ 1 : Workshop 1

デジタルパソロジーの臨床実装

Chair
小野哲 (静岡がんセンター)
福岡順也 (長崎大学)

Speaker

WS1-1 10:15-10:45

「未定」

WS1-2 10:45-11:03 久保山雄介 (ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社)

「ここまで来ている病理AIの世界」

WS2-3 11:03--11:15 猪川崇輝 (株式会社Buzzreach)

「『選ばれる施設』として、治験実施医療機関のコミットと
地域密着型ネットワークやデジタルパソロジーを活用した
症例集積のこれから」



Day 2

11:15-11:45

スポンサードセミナー2 : Sponsored Seminar 2

株式会社CUBICStars

Chair
未定

Speaker

SS2 松本桂彦（株式会社 CUBICStars ）
「組織透明化技術による全臓器三次元解析」

11:45-12:15

Break / Poster

12:15-13:00

ランチョンセミナー2 : Luncheon Seminar 2
（企業によるピッチ形式： 1 社 7 分）

Chair 近藤恵美(シスメックスCNA株式会社)

Speaker

- LS2-1** Indica labs
- LS2-2** 株式会社ブレイン
- LS2-3** 株式会社CYBO
- LS2-4** バルコ株式会社
- LS2-5** 株式会社フィリップス・ジャパン
- LS2-6** シスメックスCNA株式会社

13:00-13:30

一般演題2: Oral session 2

Chair
未定

Speaker

- OS2-1** 13:00-13:06 増田達也（名古屋大学）
「切除肺腺癌TMB高値予測深層学習モデルの構築」
- OS2-2** 13:06-13:12 潮見隆之（国際医療福祉大学）
「病理画像生成における拡散モデルの応用と専門家評価：Stable Diffusionを用いた基盤モデルの構築」
- OS2-3** 13:12-13:18 川本茉琴（長崎大学）
「病理AIにおけるGround Truth設計の最適化」
- OS2-4** 13:18-13:24 上原和樹（琉球大学）
「判断根拠図鑑を活用した説明可能AIによる病理診断支援システムの開発」
- OS2-5** 13:24-13:30 山田篤司（北海道大学）
「AIを用いた髄膜腫と孤在性繊維性腫瘍の分類と形態学的特徴の探索」

13:30-14:00

スポンサードセミナー3 : Sponsored Seminar 3

ライカマイクロシステムズ株式会社

Chair

Speaker

SS3 13:30-14:00 Matthieu Guibourge（ライカマイクロシステムズ株式会社）
「Digital Pathology Will Enable The Promise of Precision Oncology」

Day 2

14:00-15:00

シンポジウム3：Symposium 3

病理AIとデジタルパソロジーの実用化

ー厚労省とPMDAに聞く、保険収載、薬事戦略、審査対応の要点ー

Chair

津山直子（がん研究会がん研究所）
近藤恵美（シスメックスCAN株式会社）



Speaker

Sym3-1 14:00-14:30 弓場充（医薬品医療機器総合機構）
「プログラム医療機器の審査の考え方」

Sym3-2 14:30-15:00 永田翔（厚生労働省）
「医療機器の保険適用の基本知識とポイント」

15:00-15:30

Break / Poster

15:30-16:00

総会

16:00-16:15

会長講演: Presidential lecture

Speaker

PS 北村由香（株式会社N Lab/長崎大学）
「病理を患者さんへーデジタルパソロジーがつなぐ診断・医療・社会」

16:15-17:15

ワークショップ2：Workshop 2

最先端のAI

Chair

川井将敬（国立がん研究センター東病院）



Speaker

16:15-16:45 二宮洋一郎（国立情報学研究所医療ビッグデータ研究センター）
「医療における基盤モデル」

16:45-17:00 Manu Sebastian（MD Anderson Cancer Center, USA）
「**Pixels to Patients: Computational Pathology and the Future of Clinical Trials**」

17:00-17:07 土尾 崇太（筑波大学）
「**Visual Language Model**による病理画像への自動キャプション生成とその応用可能性」

17:07-17:014 川崎勝太（東京大学）
「**Sparse Auto Encoder**を用いた病理画像基盤モデルの解釈性向上」

Chair
未定

Speaker

OS3-1 17:15-17:21 R. Groen (Faculty of Medicine Vrije Universiteit, Amsterdam, The Netherlands)
「**Digital Pathology Implementation Maturity Survey: Infrastructure, Workflow, Interoperability, AI, and Clinical Governance in Dutch Academic and Peripheral Pathology Departments**」

OS3-2 17:21-17:27 小林 秀（国際医療福祉大学）
「**機械学習コンペティションと医療AIの動向**」

OS3-3 17:27-17:33 川井 将敬（国立がん研究センター東病院）
「**2D・3D腫瘍胞巣における”核ポテンシャル”を可視化するシミュレータの開発**」

OS3-4 17:33-17:39 吉川亮（順天堂大学）
「**傾斜エッジ変調伝達関数を用いた、透明化組織の透明度の相対定量法の提案**」

OS3-5 17:39-17:45 伊藤花音（名城大学）
「**3次元拡散モデルによる三次元肺細胞像の自動生成**」

OS3-6 17:45-17:51 元井紀子（埼玉県立がんセンター）
「**デジタル病理画像を用いる薬効予測指標・形態学的バイオマーカーDNN-AIスコアの可視化への試み**」

OS3-7 17:51-17:57 外山咲紀子（順天堂大学）
「**ヒト病理検体における3次元疑似カラーH&Eイメージングシステムの開発**」

Day 3

8:30-9:15

ワークショップ3：Workshop 3

細胞診のDP/AI

Chair

前田 一郎（北里大学研究所病院）

Speaker

WS3-1 8:30-8:45 新田 尚（株式会社CYBO）
「3Dデジタル細胞診とAI形態解析」

WS3-2 8:45-9:00 大崎博之（順天堂大学）
「尿細胞診におけるデジタル定量分析とAI導入の展望」

WS3-3 9:00-9:07 稲井邦博（名古屋工業大学保健センター）
「子宮頸部細胞診検体におけるハイパースペクトルイメージング解析の有用性」

WS3-4 9:07-9:14 渡邊由季子（名城大学）
「パパニコロウ 染色細胞診標本と患者情報を用いた
肺がんのEGFR遺伝子変異の予測」

9:15-10:00

ワークショップ4：Workshop 4

デジタル病理技師updateー標準化とAIー

Chair

大館拓真（長崎大学）
柳田絵美衣（群馬パース大学）

Speaker

WS4-1 9:15-9:37 上紙航（Mayo Clinic）
「DICOM標準への期待と現在地ー持続可能なデジタルパソロジーにむけて」

WS4-2 9:37-10:00 柳田絵美衣（群馬パース大学）
「臨床におけるデジタルパソロジー：グローバルな視点と
日本の臨床検査技師・細胞検査士に求められる役割」

10:00-10:30

Break / Poster

10:30-11:30

シンポジウム4：Symposium 4

デジタルパソロジーの導入に成功した ShowCaseーパネルディスカッションー

フルデジタル 5 施設から学ぶ実践的レッスン

Speaker & Panelist

SYM4-1 林大久男（順天堂大学）
SYM4-2 福岡順也（長崎大学）
SYM4-3 佐野寿郎（亀田総合病院）
SYM4-4 石澤伸（富山県立中央病院）
SYM4-5 潮見隆之（国際医療福祉大学）

11:30-12:15

ワークショップ5：Workshop 5

知っておくべき人工知能のABC

Chair

福岡順也（長崎大学）
桐山諭和（大同病院）

Speaker

WS5-1 11:30-11:52 寺本篤司（名城大学）
「いまさら聞けない人工知能入門：ニューラルネットから生成AIまで」

WS5-2 11:52-12:15 坂下信悟（国立がん研究センター東病院）
「ChatGPTが教えてくれなかったAIの基礎
～病理医がAIを正しく理解するために～」

12:15-12:30

クロージング: Closing

Speaker

総会長 北村由香（株式会社N Lab/長崎大学）
次期総会長 川井将敬（国立がん研究センター東病院）



Day 3

13:30-15:30

市民公開講座

13:30-13:40

オープニング

Speaker

北村由香（株式会社N Lab/長崎大学）

13:40-15:00

Chair

前田一郎（北里大学研究所病院）

Speaker

講演 1

伊藤智雄（神戸大学）

「知られざるミクロの世界～病理医って知ってる？」

講演 2

松本恵（長崎大学）

「同じ乳がんなのに治療が違うのはなぜ？～病理診断から見る乳がん治療」

講演 3

合田圭介（東京大学）

「変革する科学とイノベーションの行方」

講演 4

福岡順也（長崎大学）

「AIとがん細胞と私」



15:00-15:20

全体質疑

15:20-15:30

クロージング

Speaker

北村由香（株式会社N Lab/長崎大学）

Day 3

13:00-16:30

病理技師のためのデジタルパソロジーセミナー

13:00-13:10

はじめに

Speaker

田中圭（長崎大学病院）
「病理技師におけるデジタルパソロジーとは？」

13:10-13:45

デジタルパソロジーにおけるプレアナリシス①

Speaker

13:10-13:25 草野広行（国際医療福祉大学成田病院）
「導入に必要な技術的要点」

13:25-13:40 松田竜太（亀田総合病院）
「標本作製工程とデジタル対応」

13:40-13:45 質疑応答

13:45-14:05

デジタルパソロジーにおけるプレアナリシス①

Speaker

13:45-14:05 大館拓真（長崎大学病院）
「WSI化とデータ管理」

14:05-14:10 質疑応答

14:10-14:40

会場参加型セッション

Speaker

草野広行（国際医療福祉大学成田病院）
松田竜太（亀田総合病院）
「WSIトラブルシューティング：このデジタルスライド、どこが問題？」

14:40-15:00

Break / Poster

15:00-15:40

デジタルパソロジーの応用

Speaker

15:00-15:15 時田和也（順天堂大学医学附属順天堂医院）
「術中迅速診断・テレパソロジー」

15:15-15:35 柳田絵美衣（群馬パース大学）
「術中迅速診断・テレパソロジー」

15:35-15:40 質疑応答

15:40-16:30

導入事例

Speaker

15:40-15:55 橋北和弥（富山市立富山市民病院）
「ワークフロー紹介①：富山市民病院」

15:55-16:10 時田和也（順天堂大学医学附属順天堂医院）
「ワークフロー紹介②：順天堂大学医学部附属順天堂医院」

15:35-15:40 質疑応答